

1. 組織名

一般社団法人日本花き生産協会

2. 提出意見①

該当する交渉分野

物品市場アクセス

意見

花きについては、昭和60年代にすでに自由化されていますが、国際化の進展、自由化の中で、近隣諸国等からの戦略的な輸出が増加し、すでにカーネーションは国内需給量の50%以上が輸入となり、国内のカーネーション生産に大きな影響が出て、国内生産が衰退してきている。その他、きく、ばら、ゆり、洋らん切花など輸入が増加し、国内生産に影響が出てきている。農村地域をベースとして生産している品目であって、既に自由化された品目の経験として、安易な妥協は農業農村の生産構造を変え、農村地域社会の崩壊を招きかねないものであり、慎重な対応をお願いする。

3. 提出意見②

該当する交渉分野

意見

【参考】TPP交渉における交渉分野

物品市場アクセス	原産地規則	貿易円滑化	SPS(衛生植物検疫)	TBT(貿易の技術的障壁)	貿易救済	政府調達
知的財産	競争政策	越境サービス	商用関係者の移動	金融サービス	電気通信サービス	電子商取引
投資	環境	労働	制度的事項(法律的事項)	紛争解決	協力	分野横断的 事項